



当時の鹿鳴館2階のダンス風景を再現したジオラマ（東京都江戸博物館蔵）



鹿鳴館敷地を上から見下ろしたジオラマ（東京都江戸博物館蔵）



18万円（現在の4億円強）をかけて明治16年に建築された鹿鳴館（横浜開港資料館蔵）

### ■ダンスは上流階級のたしなみ

鹿鳴館は、英国人建築家、ジョサイア・コンドル氏の設計により、18万円（現在の4億円強）という当時では巨額な建築費が投じられ、日本一の洋館として、建設されました。鹿鳴館では、開館以来、毎晩のように舞踏会が開かれ、社交ダンスは上流階級の人々にとって、身だしなみの1つとして楽しまれていたということです。社交ダンスの歴史をひも解くと、とりわけ鹿鳴館時代のダンスが有名ですが、実際には、それ以前に、横浜や神戸に住む欧米の外交官や貿易商社の家族たちの間では、すでにダンスが楽しまれていたという記録があります。しかし、それは、あくまでも限られた世界の人たちのものでしかありませんでした。



当時、上流階級で行われていた舞踏会風景

### ■生演奏をバックに政治家もこぞってShall we dance?

鹿鳴館は、欧米の大使や外交官たちの迎賓・接待の場として使われ、伊藤博文総理大臣をはじめ、山県元帥などの政府高官までがこぞって社交ダンスの練習に励んだというこ



いつまでも変わらないダンスの楽しさ

とです。当時は、「カドリール」「ランサーズ」といった“スクエア・ダンス”と、「ワルツ」、「ポルカ」、「マズルカ」、「ショティッシュ」、「ギャロップ」といった“ラウンド・ダンス”の7種類が踊られていました。どれも、1870年代～1880年代にかけて、欧米で踊られていた上流階級の社交ダンスを代表する種目で、現在では“オールド・ファッションダンス”としてひとつにくくられている種類のダンスです。日本の社交ダンスの歴史の中で、「ワルツ」と「ポルカ」以外の“ラウンド・ダンス”は鹿鳴館時代でしか踊られなかったもので、その後も一般庶民の間では踊られることはありませんでした。また、当時は、蓄音機などがまだない時代であったため、ダンスの伴奏は全て生演奏で、在日外国人や陸海軍の軍楽隊、宮内庁の雅楽部が担当していました。

### ■そして「<sup>いま</sup>現在」、合言葉はShall we dance?

ボールルームダンスは昭和に入り、一度陰りを見せるものの、戦後の日本経済の発展とともに、現在まで多くの人に愛される生涯スポーツに発展しました。昭和33年には英国から当時の世界チャンピオンが来日し、ダンス技術向上のためプロを対象に各地で講習が行われました。その後、昭和36年より競技選手が英国へダンス留学するなど、現在も多くの選手が技術の向上のため、渡英しています。鹿鳴館で踊られていたダンスも時代と共により高度に、より優雅なものとなり、日本はもちろんのこと、世界各地で楽しまれています。そして平成4年、「生涯スポーツとしての

国民のためのダンス文化の浸透、普及、振興」を目的に財団法人日本ボールルームダンス連盟（JBDF）が設立されました。

平成8年1月、全国で公開された映画「Shall weダンス？」のヒットやテレビで社交ダンスが取り上げられたことにより、ボールルームダンスは急速に普及しました。現在10種目の競技ダンスの他、マンボやブルース、ジルバなどが、全国でおよそ240万人※1に楽しまれており、その数は、年々増加傾向にあります。

### ■世界に広がるボールルームダンス

現在、ボールルームダンスは健康や趣味、競技など様々な目的で人々に楽しんでいます。地域活動の一環として公民館や体育館などで、気軽にダンスが踊られたり、



多くの人々に身近に楽しまっているダンス



未来を担う子供たちに広がるダンスの輪



東京の日本武道館で行われた国際大会で、華麗な技を競い合う選手たち

ホテルやダンスホールなどで楽しまれたり、ボールルームダンスは様々な場所で生涯スポーツとして愛されています。競技としてのダンスに目を向けると、世界ではボールルームダンスをオリンピック種目に、車イスダンスをパラリンピック種目にする動きがあり注目を集めています。さらに、ボールルームダンスは、人と人との触れ合いを実感することで、相手を思いやる気持ちや、触れ合うことの楽しさを知ることができます。そのため、学校教育やダンス教室、地域活動の中のコミュニケーション手段のひとつとしても注目されています。

「ダンスの日」は、「いつでも、どこでも、だれとでも」をテーマに2004年から始まった活動です。2005年はアマチュア地域協会主催のダンスパーティーや全国のJBDF認定のダンス教室での無料レッスンなど、様々なイベントを予定しており、そこからダンスの魅力を伝えていきます。

※1 平成15年度レジャー白書「洋舞・社交ダンス」参照